

注意を要する 「危険な場所」 を 自分流の地図 にする

『安全マップ』 を考えておこう

はじめに、日能研 町田校で気にかかる ”さしせまって”

危険な点

* 町田校が入るpopビル前は、小田急線の踏切に接する信号機の無い五差路となっており、4ヶ所の横断歩道とバス停が数ヶ所設置されている。

ここでは、たくさんの**歩行者**がスクランブル状態で通行し、**車両**も、荷物の積み降ろし、待ち合わせ、送り迎えのために午前、午後の区別なく、交差点内に二重、三重に駐車させている**極めて危険な環境**ですよね。

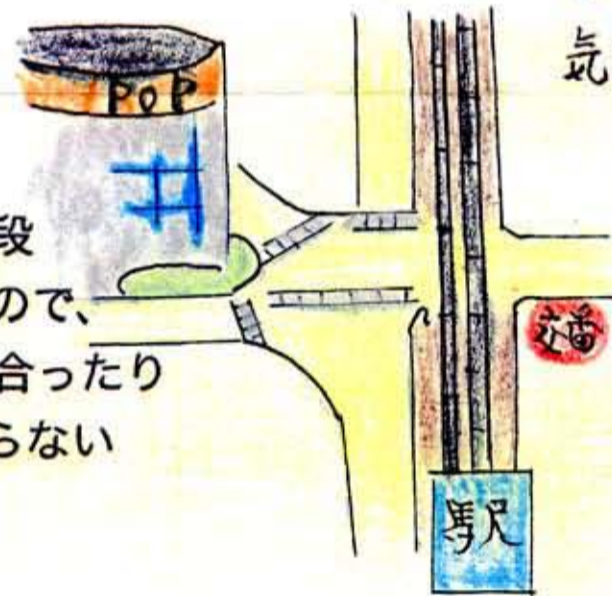
従って、この道路を通行するときは、上記のことを頭に入れておいて、

- ▲ 左右をよくよく確認する
- ▲ 横断歩道を走って渡らない
- ▲ 本、携帯をみながらの”ながら”横断は厳禁



その他の危険な場所

- * 塾から帰る時間帯に利用しているビルの中の階段
(酒に酔っている者も多く利用しているので、走り降りたり、大声を出したり、ふざけ合ったりして、深刻(しんこく)な**トラブル**にならない様にくれぐれもマナーを守って)
- * 地下街のコンコース
(ときどきホームレスの人が飲酒している場所あり)
- * 人通りの多い駅周辺の商店街、横道など
- * ビルとビルの間、地下空間、非常口、階段付近



安全マップ作成上の着眼点の基本

危険な場所 とは、

『入りやすく、しかも、見えにくい場所』 と考えよう

例えば

公園、公衆便所、トンネル、空き地、 駐車(輪)場、高い建物の屋上・階段・踊り場・エレベーター・非常口など

そして、「人通りの多い」商店街など**他人の行動を気につけない場所**や落書きがおおく、空きカン、ゴミなどがちらかってる所なども、その**地区の人達の協力心が少ない**とおもわれるところから、「見えにくい場所」となるよ。